

吾妻山の火山活動解説資料（平成 24 年 4 月）

仙台管区気象台
火山監視・情報センター

大穴火口の噴気活動はやや活発な状態が続いています。

ただちに火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。

引き続き、火口内では火山ガスの噴出がみられますので警戒が必要です。

平成 19 年 12 月 1 日に噴火予報（噴火警戒レベル 1、平常）を発表しました。その後、予報警報事項に変更はありません。

○ 活動概況

・噴気など表面現象の状況（図 2～3）

上野寺（大穴火口の東北東約 14km）に設置してある遠望カメラによる観測では、大穴火口（一切経山南側山腹）からの噴気の高さは、50～100mで経過し、噴気活動はやや活発な状態が続いています。

・地震や微動の発生状況（図 4）

火山性地震及び火山性微動は観測されませんでした。

・地殻変動の状況（図 5～6）

GPS 連続観測では、火山活動によると考えられる変化は認められませんでした。



図 1 吾妻山 観測点配置図

小さな白丸（○）は気象庁、小さな黒丸（●）は気象庁以外の機関の観測点位置を示しています。

（東）：東北大

この火山活動解説資料は、仙台管区気象台のホームページ (<http://www.jma-net.go.jp/sendai/>) や、気象庁ホームページ (<http://www.seisvol.kishou.go.jp/tokyo/volcano.html>) でも閲覧することができます。次回の火山活動解説資料（平成 24 年 5 月分）は平成 24 年 6 月 8 日に発表する予定です。

本資料中の地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の「数値地図 50m メッシュ（標高）」を使用しています（承認番号：平 23 情使、第 467 号）。



図2 吾妻山 大穴火口からの噴気の状況（4月17日08時42分頃）

福島市上野寺（大穴火口から東北東約14km）に設置してある遠望カメラによる。

実線赤丸で囲んだのが、白色噴気で高さは100m。

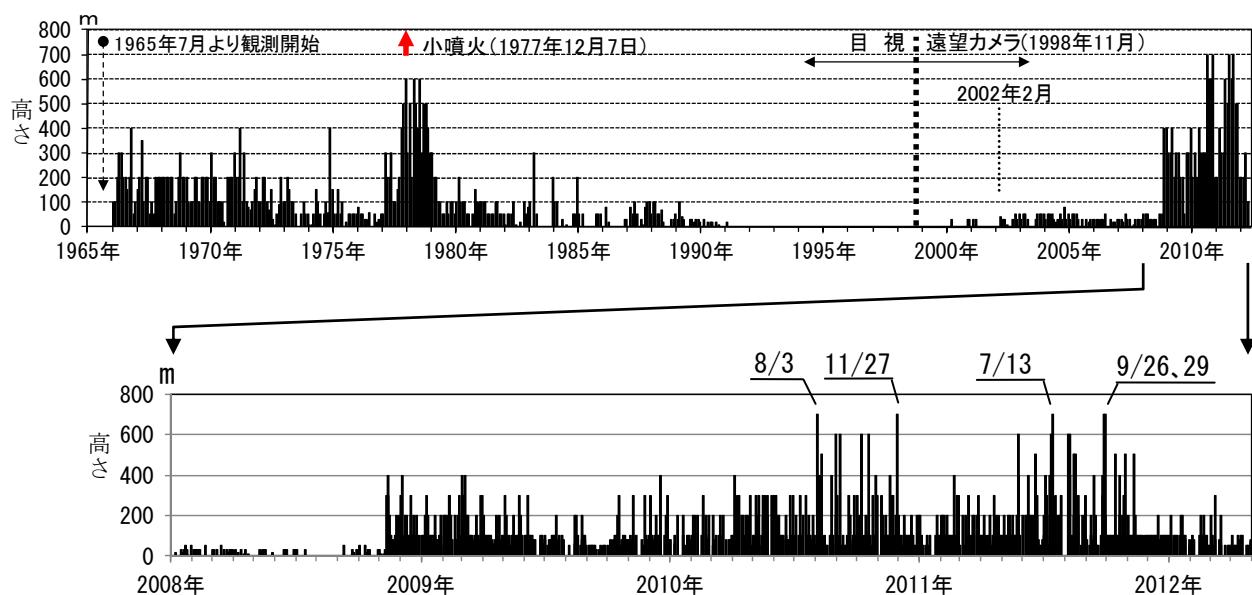


図3 吾妻山の噴気の高さ 上段：月別最大噴気（噴煙）高（1965年7月～2012年4月）

下段：日別最大噴気高（2008年1月～2012年4月）

1998年以前は福島地方気象台（大穴火口の東北東約20km）からの目視観測です。

1998年から遠望カメラ（大穴火口の東北東約14km）による観測です。

2002年2月以前は定時（09時、15時）及び随時観測による高さです。

2002年2月以後は全ての時間で観測したデータによる高さです。

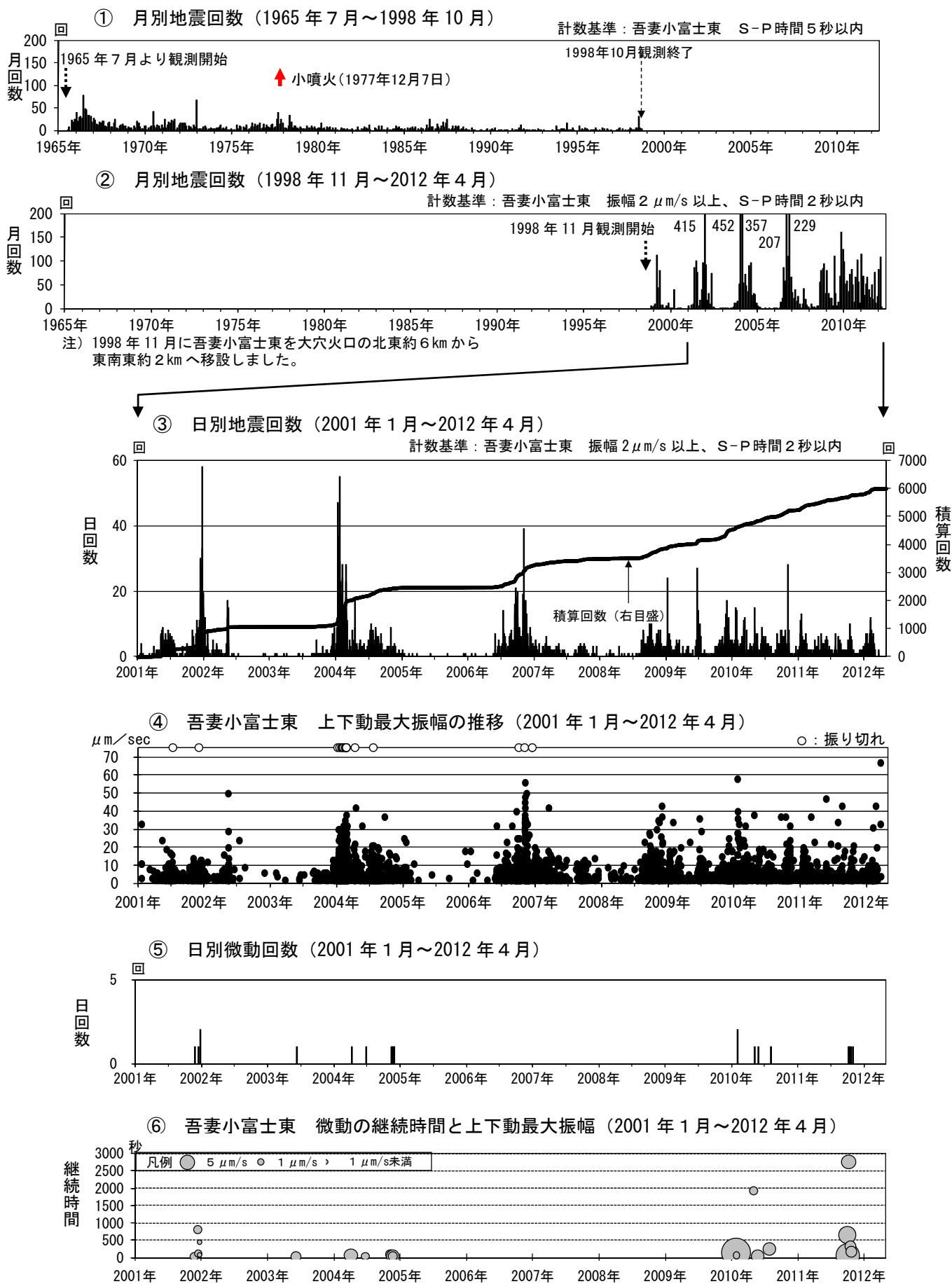


図4 吾妻山 地震活動経過図

・機器障害のため、2010年10月14～15日の日別地震回数は欠測です。

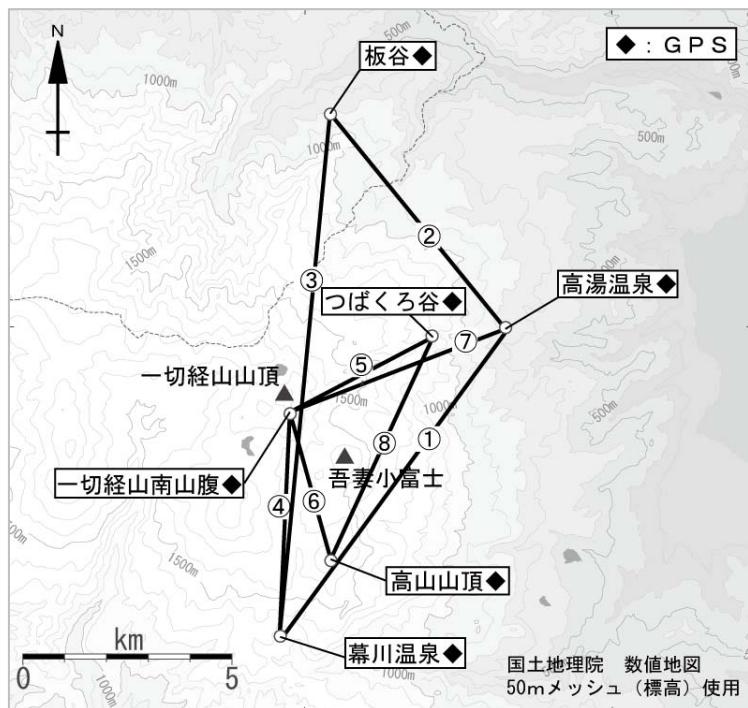


図5 吾妻山 GPS 観測点配置図
GPS 基線①～⑧は図6の①～⑧に対応しています。

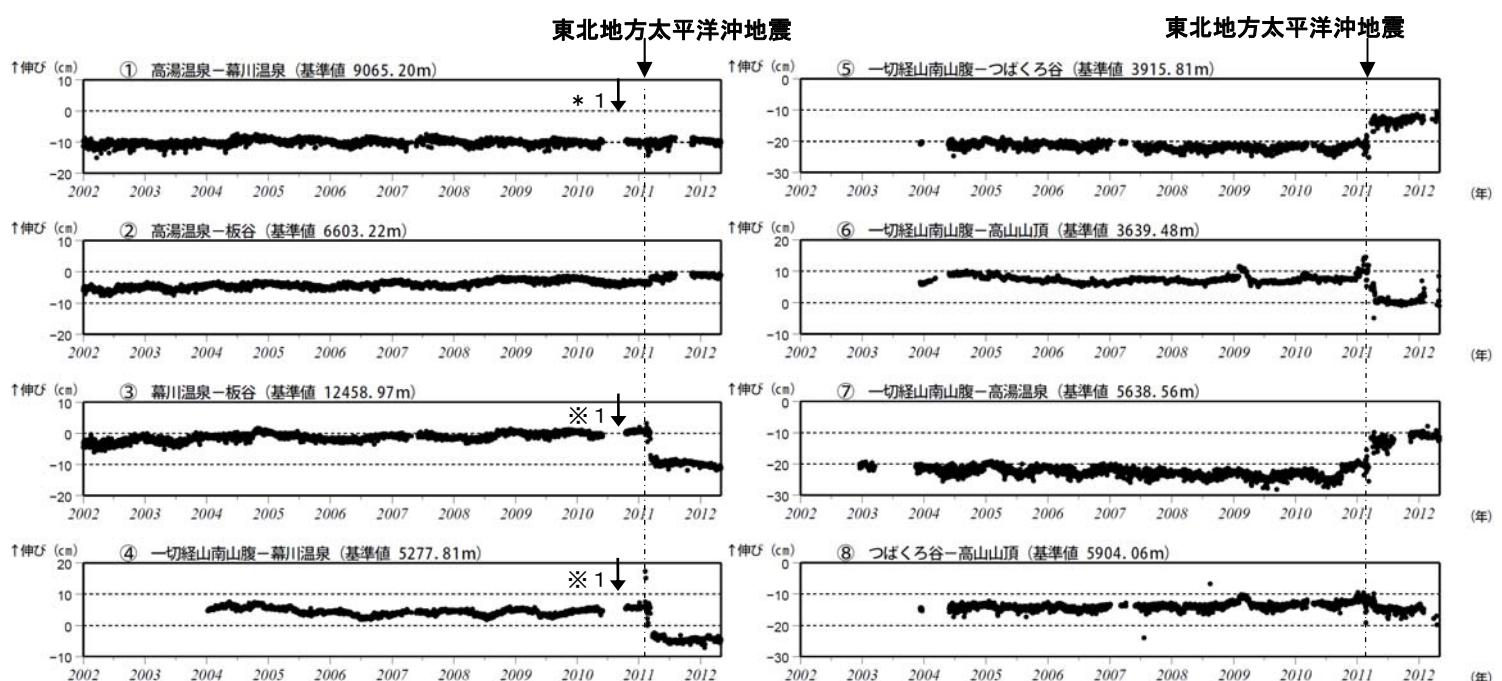


図6* 吾妻山 GPS 基線長変化図（2002年1月～2012年4月）

2010年10月以降のデータについては、電離層の影響を補正する等、解析方法を改良しています。

①～⑧は図5のGPS基線①～⑧に対応しています。

グラフの空白部分は欠測を表しています。

* 1：幕川温泉観測点の機器更新